

第5学年外国語科学習指導案

令和6年2月6日(火)

第5校時 13時30分～14時15分

5年1組 7名

指導者 後藤 久美子(JTE)

Kalista Pattison (ALT)

1 単元名 自分の家族にあこがれの人を紹介しよう

(NEW HORIZON Elementary English Course 5 Unit 8 Who is your hero?)

2 単元について

(1) 児童について

本学級は4・5年生の複式学級で、5年生は7名在籍している。本校では、「英語の日常化」に取り組んでおり、児童が英語での放送や挨拶などに意欲的に取り組むなど、英語を使うことへの興味・関心は非常に高い。豊後大野市が実施したアンケートの結果によると、全ての児童が「英語の授業に楽しんで参加している」と答えている。また、校内アンケートの「英語で表現することが好きか」という項目も肯定率が100%で、児童は英語の活動に対して非常に前向きに取り組んでいることがわかる。

一方で、授業中の話す活動においては、既習内容であっても言いたいことが言えず会話を継続させることができなかつたり、間違いを恐れて話そうとしなかつたりする場面が見られる。言いたいことを伝えるために必要な語彙を選択し、それを英文にして話すことに対して苦手意識をもっている児童がいる。

さらに、昨年度6年生を対象に実施した英検 ESG の結果を見ると、リスニングを中心に全体スコアが伸びている中、「話すこと」にはやや課題が見られ、この傾向は5年生にも当てはまる。

(2) 教材について

Who is your hero? は、自分のあこがれの人について話したり、伝えたりすることができる教材である。単元の学習を通して、「どうしたらあこがれの人に近づくことができるのか」「そのために今何ができるか」ということを考え、伝えようとする内容を整理した上で自分の伝えたいことを発表する。その際、これまで学習してきた英語や、新しく学習する **be good at ~ing** 等の表現を活用できる。本単元で作成したスピーチを授業参観で発表することになっており、ロイロノートで作った資料を使いながら、自分の家族や参加者に、あこがれの人と自分の気持ちや考えが伝わるように発表するという目標は、児童の主体性を引き出し、児童が生き生きと単元の学習に取り組むことに期待ができる。

(3) 指導について

指導にあたっては、上に述べた児童の課題に対応するため、以下の3点をポイントに挙げる。

- ① 児童の興味・関心を引き出し、主体的に学習に取り組ませるため、単元のゴールにおける目的意識と相手意識を大切にさせる。自分のあこがれの人と自分の思いを保護者や在校生に伝えることで、児童の学習意欲を高めることにつながる。また、どのような内容にすれば伝わりやすくなるのかを常に意識させ、それを中間指導の柱とすることで、言語活動前後の成長を実感させ、児童の主体性を引き出す。
- ② 「話すこと」(発表)の苦手意識に対応するため、話す内容をスモールステップで準備させる。各授業における言語活動を通して、少しずつ情報を加筆・修正させることで、児童はスパイラルに単元のゴールに向かって学習に取り組みながら、話す内容をブラッシュアップすることができる。前半はあこがれの人を中心に考えさせ、後半は自我関与を促す。単元の学習の流れの中で段階的に **hero** と自分自身を関連付け、「今何ができるか」を考えさせることで、児童にとって発表に向けた準備のハードルが下がると考える。そして、単元末に自分の発表と変容を振り返らせて、大きな達成感を感じさせ、小学校での集大成である次年度の英語スピーチ(卒業プロジェクト)へ向けてのステップとしたい。
- ③ 「話すこと」の苦手を克服するために『新田リスポンス』(“Good job!”、“Nice!”、“OK!”、“Me, too!”、“I see!”等)を大切にさせ、対話を自然に継続することができるように導く。ペアやグループで話す機会を多く設け、話すことに自信をつけさせることで、全体の前で話す抵抗感を軽減することができる。また、リスポンスをきちんと示すことで、発言した児童(話し相手)の自己肯定感の高まりにも期待ができる。

3 単元の目標

保護者の方に自分のあこがれの人や自分の思いを知ってもらうために、その人の性格や得意なこと、その人に近づくために今の自分にできることなどについて、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちを含めて話すことができるようにする。

4 関連する学習指導要領における領域別目標

| | |
|--------------|---|
| 話すこと [発表] | ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。 |
|--------------|---|

5 単元の評価規準

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--------------|---|---|--|
| 話すこと [発表] | <p><知識> 動作や性格などを表す語句や、Who is your hero? My hero is ～. He/She is good at ～ing. などあこがれの人を伝える表現について理解している。</p> <p><技能> 動作や性格などを表す語句や、Who is your hero? My hero is ～. He/She is good at ～ing. などの表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。</p> | <p>保護者の方に自分のあこがれの人や自分の思いを知ってもらうために、その人の性格や得意なこと、その人に近づくために今の自分にできることなどについて、自分の考えや気持ちなどが伝わるように工夫して話している。</p> | <p>保護者の方に自分のあこがれの人や自分の思いを知ってもらうために、その人の性格や得意なこと、その人に近づくために今の自分にできることなどについて、自分の考えや気持ちなどが伝わるように工夫して話そうとしている。</p> |

6 指導と評価の計画（単元指導計画）（全9時間）

○…形成的評価 ◎…記録に残す評価

| 時 | 目標と主な活動 | 評価 | | | |
|------------------------------|--|----|---|---|---|
| | | 知 | 思 | 主 | ●評価規準（方法） |
| 単元のめあて 自分の家族にあこがれの人を紹介しよう | | | | | |
| 1 | <p>あこがれの人が誰か伝えよう</p> <p>○将来どのような人になりたいかを考え、あこがれの人を先生や友だちに伝える。</p> <p>○単元の目標が家族への発表であることを知り、学習の見通しを持つ。</p> <p><u>1.Warm up</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 ・Sound and Letters(Food Jingle) <p><u>2.Activity</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・Teacher Talk <p>"Who is your hero?"</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表するあこがれの人を決める。 ・単元の目標と本時のめあてを確認する。 ・Starting Out ・Let's Chant ・Let's Write ・あこがれの人についてやり取りする。 <p><u>3.Looking Back</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートに記入、交流する。 | | | | <p>●<知識> Who is your hero? My hero is ～. などあこがれの人を伝える表現について理解している。</p> <p><技能> Who is your hero? My hero is ～. などの表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。 (行動観察・発表準備シート)</p> |
| 2 | <p>頻度や日常生活の動作（日課）の言い方に慣れよう</p> <p>○頻度や日常生活の動作を表す表現を知り、あこがれの人の日課を考える。</p> <p><u>1.Warm up</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 ・Let's Chant | | | | <p>●<知識> Who is your hero? My hero is ～. などあこがれの人を伝える表現について理解している。</p> <p><技能> Who is your hero? My hero is ～. などの表現を用いて、自分の考えや気持ち</p> |

| | | | | |
|-------------|---|---|---|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> • Small Talk <p>"Who is your hero?"</p> <p><u>2.Activity</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • 「一日の生活」と「頻度」を練習する。 • Fly Swatter Game, Simon Says Game • Let's Listen1 • Let's Write • 教師とやり取りする。 <p><u>3.Looking Back</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • 振り返りシートに記入、交流する。 | | | <p>などを話す技能を身に付けている。</p> <p>(行動観察・ロイロシート)</p> |
| 3 本 時 | <p>ヒーローインタビューで、自分のあこがれの人がいつもしている事を伝え合おう</p> <p>○あこがれの人の日課について、ペアでやり取りをする活動を通して、あこがれの人を説明する。</p> <p><u>1.Warm up</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • 挨拶をする。 • Let's Chant • Who am I?クイズ • Small Talk <p>"What do you always do?"</p> <p><u>2.Activity</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • ヒーローインタビューをする。 <p><u>3.Looking Back</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • 振り返りシートに記入、交流する。 | ○ | | <p>●<知識></p> <p>動作や日課を表す語句や、Who is your hero? My hero is ～.などあこがれの人を伝える表現について理解している。</p> <p><技能></p> <p>動作や日課を表す語句や、Who is your hero? My hero is ～.などの表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。</p> <p>(行動観察・ロイロシート)</p> |
| 4 | <p>あこがれの人の得意なことを友だちに伝えよう</p> <p>○あこがれの人の得意なことについて、先生や友だちとやり取りする。</p> <p><u>1.Warm up</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • 挨拶をする。 • Let's Sing and Chant • Teacher Talk <p>"I'm good at ～ing."</p> <p><u>2.Activity</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • I'm good at ～ing.の形を確認する。 • Tornade and Revers Game • あこがれの人の I'm good at ～ing.の文を作る。 • Let's Write • 友だちとやり取りする。 <p><u>3.Looking Back</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • 振り返りシートに記入、交流する。 | ○ | | <p>●<知識></p> <p>動作を表す語句や、He/She is good at ～ing.などあこがれの人を伝える表現について理解している。</p> <p><技能></p> <p>動作を表す語句や、He/She is good at ～ing.などの表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。</p> <p>(行動観察・発表準備シート)</p> |
| 5 | <p>あこがれの人がどんな人かを伝えよう</p> <p>○あこがれの人がどんな人かを付け加え、発表資料を作る。</p> <p><u>1.Warm up</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • 挨拶をする。 • Let's Sing and Chant • Teacher Talk <p>"He/She is ～."</p> <p><u>2.Activity</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • 陣取りゲーム <p>「性格など」「様子」PD page17、29</p> | ○ | ○ | <p>●<知識></p> <p>動作や性格などを表す語句や、Who is your hero? My hero is ～.He/She is good at ～ing.などあこがれの人を伝える表現について理解している。</p> <p><技能></p> <p>動作や性格などを表す語句や、Who is your hero～? My hero is ～. He/She is good at ～ing.などの表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。</p> |

| | | | | |
|---|--|--|---|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> • He/She is ～.の文を加える。 • 友だちとやり取りをする。 • Let's Write • ロイロノートにここまでの文章を録音する。 • 一文につき一枚程度の資料を作る。(仕上がらなければ宿題でつくる) <p>3.Looking Back</p> <ul style="list-style-type: none"> • 振り返りシートに記入、交流する。 | | | <p>●保護者の方に自分のあこがれの人や自分の思いを知ってもらうために、その人の性格や得意なこと、その人に近づくために今の自分にできることなどについて、自分の考えや気持ちなどが伝わるように工夫して話している。</p> <p>(行動観察・発表準備シート・録音)</p> |
| 6 | <p>自分の気持ちがより伝わる発表内容に仕上げよう</p> <p>○プラスで伝えたい内容を考えさせ、ALT や JTE と内容を再構築する。</p> <p>1.Warm up</p> <ul style="list-style-type: none"> • 挨拶をする。 • Sound and Letters(Food Jingle) • Let's Sing and Chant <p>2.Activity</p> <ul style="list-style-type: none"> • 家族に発表することを再確認し、伝える内容が十分かを考える。 • 教師のモデルを見る。 • 加えたい文章を考え加える。 • Let's Write • 友だちとやり取りをする。 • 発表内容を完成する。 <p>3.Looking Back</p> <ul style="list-style-type: none"> • 振り返りシートに記入、交流する。 | | ○ | <p>●保護者の方に自分のあこがれの人や自分の思いを知ってもらうために、その人の性格や得意なこと、その人に近づくために今の自分にできることなどについて、自分の考えや気持ちなどが伝わるように工夫して話している。</p> <p>(行動観察・発表準備シート)</p> |
| 7 | <p>自分の気持ちがより伝わる発表になるように話し方をブラッシュアップしよう</p> <p>○ペアでお互いに撮影し、4つの大切な視点からアドバイスをし合う。</p> <p>1.Warm up</p> <ul style="list-style-type: none"> • 挨拶をする。 • Sound and Letters(Food Jingle) • Let's Sing and Chant • 教師のモデルを見る (4つのポイント、イントネーションなど)。 <p>2.Activity</p> <ul style="list-style-type: none"> • ペアで練習し撮影する。 良いところや改善点を伝え合い、自分の発表に活かすように練習する。 • もう一度撮影し見比べる。 <p>3.Looking Back</p> <ul style="list-style-type: none"> • 振り返りシートに記入、交流する。 | | ○ | <p>●保護者の方に自分のあこがれの人や自分の思いを知ってもらうために、その人の性格や得意なこと、その人に近づくために今の自分にできることなどについて、自分の考えや気持ちなどが伝わるように工夫して話している。</p> <p>(行動観察・録画)</p> |
| 8 | <p>自分の家族にあこがれの人をクリアボイスで発表しよう</p> <p>○自分の家族にあこがれの人を紹介し、今の自分の思いを授業参観の場で伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 思いが伝わるようにこれまでの練習の成果を出し切る。 • 友だちの発表を聞く際には、新田リ spons を忘れないようにする。 • 宿題で振り返りをする。 | | | <p>●<知識> 動作や性格などを表す語句や、Who is your hero? My hero is ～.He/She is good at ～ing.などあこがれの人を伝える表現について理解している。</p> <p><技能> 動作や性格などを表す語句や、Who is your hero～? My hero is ～. He/She is good at ～ing.などの表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを話す技能を身</p> |

| | | | | | |
|---|--|---|---|---|---|
| | | ◎ | ◎ | ◎ | <p>に付けている。</p> <p>●保護者の方に自分のあこがれの人や自分の思いを知ってもらうために、その人の性格や得意なこと、その人に近づくために今の自分にできることなどについて、自分の考えや気持ちなどが伝わるように工夫して話している。</p> <p>●保護者の方に自分のあこがれの人や自分の思いを知ってもらうために、その人の性格や得意なこと、その人に近づくために今の自分にできることなどについて、自分の考えや気持ちなどが伝わるように工夫して話そうとしている。</p> <p>(行動観察・発表準備シート)</p> |
| 9 | <p>日本生まれのヒーローについて考え、世界と日本の文化に対する理解を深めよう</p> <p>○世界と日本の文化に対する理解を深める。</p> <p><u>1.Warm up</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 ・Sound and Letters(Food Jingle) ・Small Talk <p>"Do you usually read the newspaper?"</p> <p><u>2.Activity</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 p. 80, 81 ・復習問題 <p><u>3.Looking Back</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表の振り返りをふくめた単元の振り返りシートに記入、交流する。 | ◎ | ○ | ○ | <p>●<知識></p> <p>動作や性格などを表す語句や、Who is your hero? My hero is ～.He/She is good at ～ing.などあこがれの人を伝える表現について理解している。</p> <p><技能></p> <p>動作や性格などを表す語句や、Who is your hero～? My hero is ～. He/She is good at ～ing.などの表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。</p> <p>●保護者の方に自分のあこがれの人や自分の思いを知ってもらうために、その人の性格や得意なこと、その人に近づくために今の自分にできることなどについて、自分の考えや気持ちなどが伝わるように工夫して話している。</p> <p>●保護者の方に自分のあこがれの人や自分の思いを知ってもらうために、その人の性格や得意なこと、その人に近づくために今の自分にできることなどについて、自分の考えや気持ちなどが伝わるように工夫して話そうとしている。</p> <p>(復習問題・発表準備シート)</p> |

7 本時の指導 (3/9)

(1) 題目 My Hero の日課を説明しよう

(2) 本時のねらい

あこがれの人の日課について、指導者のモデル会話を聞いて生活や頻度に関する表現を加えることに気づき、それらの表現を含めてペアでやり取りしながら自分の表現を改善する活動を通して、説明することができるようにする。

(3) 展開

| 時間 | 学習活動 | 指導上の留意点 (OTT) | 準備物・●評価 |
|--|---|---|---|
| 2分 | <p>Warm up</p> <ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 曜日、日付、天気について答える。 | <ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 ○曜日、日付、天気について質問する。 曜日の綴りを確認する。 前時での振り返りを確認する。 | デジタル教科書 カスタネットチャンツの紙 ロイロノート |
| 10分 | <p>【Let's Chant&Quiz】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書チャンツをする。 カスタネットチャンツをする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>Who is your hero? My hero is Otani Shohei. He is a baseball player.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> Who am I?クイズをする。 めあてを確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> リズムよく元気にさせる。 Who am I?クイズを出題する。 | |
| <p>ヒーローインタビューで、自分のあこがれの人がいつもしている事を伝え合お</p> | | | |
| 8分 | <p>【Small Talk】</p> <ul style="list-style-type: none"> ALT と JTE の日常生活の話聞いて質問に答える。 会話の内容と「生活」や「頻度」に関する表現を理解し、練習する。 | <p>○ALT と JTE が日常について話し、児童にも質問する。</p> <p>“What do you always do?” “I always play volleyball.”</p> <p>...</p> <ul style="list-style-type: none"> 会話の概要を伝え、「生活」や「頻度」に関する表現を確認し、リピートさせる。 | 絵カード (PD, page20) |
| 20分 | <p>Activity</p> <p>【ヒーローインタビュー】</p> <ul style="list-style-type: none"> 友だちのヒーローがいつもしていることを予想し、シートに記入する。 インタビューをペアでし合う。 改善点を考える。 改善点を意識しながら、別のペアとインタビューをし合う。 | <ul style="list-style-type: none"> 予想を終えた順に個人練習をするように指示を出す。 ○ALT と JTE でモデルを見せる A:Hello, I'm Otani Shohei. B:What do you always do? A:I always walk my dog, Dekopin. I always eat 5 meals. B:Wow! ○机間指導をする。 中間指導をする 改善点 (語順、発音、イントネーション、新田リスポンス等) を意識させる。 | 絵カード ロイロノート ●<知識> 動作や日課を表す語句や、 Who is your hero? My hero is ~.などあこがれの人を伝える表現について理解している。 <技能> 動作や日課を表す語句や、 Who is your hero~? My hero is ~.などの表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。 (行動観察・ロイロシート) |

| | | | |
|---|---|---|--------|
| 5分 | <p><u>Looking Back</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・項目ごとに自己評価し、振り返りを打ち込む。 <p>※振り返りの視点</p> <ol style="list-style-type: none"> ①友だちにあこがれの人がいつもしていることをたずねられた。 ②自分のあこがれの人がいつもしていることを伝えられた。 ③相手のことを考えてやりとりができた。(やり取りするとき工夫して伝えられた。) | <ul style="list-style-type: none"> ・左記の①～③で振り返るように指示する。 | ロイロノート |
| <p>(児童に期待する振り返りの例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちのあこがれの人がいつもしている事がわかったので、他の人の事も聞いてみたいです。 ・インタビューがうまくできました。いつもしている事だけではなく、時々している事なども言ってみたいです。 | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの交流を行う ・挨拶をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・早めに提出できた子どもを指名して発表をしてもらい、それを交流する。 ○本時の活動、振り返りの内容や次回のことについてコメントをする。 ・挨拶をする。 | |